

## ◆第5章

- 飯尾潤（2007）『日本の統治構造——官僚内閣制から議院内閣制へ』中央公論新社。
- 上神貴佳（2013）「政権交代期における指導者像」飯尾潤編『政権交代と政党政治』中央公論新社：45-73。
- 大山礼子（2011）『日本の国会——審議する立法府へ』岩波書店。
- 川人貞史（2015）『議院内閣制』東京大学出版会。
- 川人貞史（2018）「日本における政権運営と解散・総選挙」河崎健編『日本とヨーロッパの選挙と政治』ぎょうせい：33-50。
- 瀬戸山順一（2015）「内閣官房・内閣府の業務のスリム化——内閣の重要政策に関する総合調整等に関する機能の強化のための国家行政組織法等の一部を改正する法律案」『立法と調査』364：3-17。
- 高橋洋（2010）「内閣官房の研究——副長官補室による政策の統合調整の実態」日本行政学会編『年報行政研究45——行政学と共同研究』ぎょうせい：119-138。
- 高安健将（2013）「政権交代と議院内閣制」飯尾潤編『政権交代と政党政治』中央公論新社：181-235。
- 竹中治堅（2005）『『日本型分割政府』と参議院の役割』日本政治学会編『年報政治学 2004——オーラル・ヒストリー』岩波書店，55：99-125。
- 竹中治堅（2006）『首相支配——日本政治の変貌』中央公論新社。
- 竹中治堅編（2017）『二つの政権交代——政策は変わったのか』勁草書房。
- 建林正彦（2004）『議員行動の政治経済学——自民党支配の制度分析』有斐閣。
- 建林正彦（2017）『政党政治の制度分析——マルチレベルの政治競争における政党組織』千倉書房。
- 野中尚人・青木遥（2016）『政策会議と討論なき国会——官邸主導体制の成功と後退する熟議』朝日新聞出版。
- 濱本真輔（2018）『現代日本の政党政治』有斐閣。
- 原田久（2022）『行政学 第2版』法律文化社。
- 前田幸男・堤英敬編（2015）『統治の条件——民主党に見る政権運営と党内統治』千倉書房。
- 待鳥聡史（2012）『首相政治の制度分析——現代日本政治の権力基盤形成』千倉書房。
- 御厨貴編（2013）『増補新版 歴代首相物語』新書館。
- 森本哲郎（2016）「首相のリーダーシップ」森本哲郎編『現代日本の政治——持続と変化』法律文化社：92-113。
- Lijphart, A. (2012) *Patterns of Democracy: Government Forms and Performance in Thirty-Six Countries*, Yale University Press.